

膠芽腫での T2 強調画像高信号領域における非造影腫瘍と浮腫との鑑別について

1. 研究の対象

2018 年から 1 月から 2021 年 4 月までに当院で手術治療を受けられた初発膠芽腫、転移性脳腫瘍、髄膜腫の方

2. 研究目的・方法

膠芽腫は周囲の脳への浸潤能が高く、脳の機能を温存しながら最大限の摘出が予後の改善につながります。しかし、MRI 画像で腫瘍がどこまで広がっているかの判定は難しく摘出範囲についての明確な基準がありません。腫瘍の広がりを確認するために MRI で造影剤を使用しますが、腫瘍周囲の造影されていない領域も腫瘍が広がっている可能性があり、現行の画像評価よりも腫瘍の広がりを早期に検出する解析技術が進むことで腫瘍の摘出範囲をより正確に確認できることが期待されます。

2018 年から 1 月から 2021 年 4 月までに当院で手術治療を受けられた初発膠芽腫患者さんを対象とし、術前に撮影された MRI 画像から早期に腫瘍が広がっている範囲の解析が可能か検証を行います。対照群として同期間に手術治療を受けられた転移性脳腫瘍、髄膜腫の患者さんの術前 MRI 画像も解析させていただきます。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、病理 等

試料：MRI 画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 脳神経外科 高野 浩司

様式第 1-4 (2018. 4. 1 版)

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上